

明日から実践できる！！ 評価セミナー (Bobath編)



進リハの集い

代表 青木啓一郎



Rehabilitation
Square

Bobath法 (Bobath method)

脳性麻痺児や脳卒中の成人に対するリハビリテーションアプローチであり、Bobath conceptやneuro-developmental treatment (NDT) ともよばれている。

開発したのは、理学療法士であるBerta Bobathとその夫で医師・神経生理学者であるKarel Bobathであり、2人ともユダヤ人である。

Bobath法 (Bobath method) 歴史

このBobath法は1948年に初めて記述され、Bertaが正式に理学療法士の資格を得たのは1950年である。1951年にはKarelと共にプライベートクリニックを開設し、これは後にWestern Cerebral Palsy Centreとなり、医師やセラピスト向けのコースを開催した。またKarelはBertaの治療法の理論化を長年にわたり補助し、1965年にBertaは『Abnormal Postural Reflex Activity Caused by Brain Lesions』のテキストを出版した。クリニックは1975年にBobath Clinicと改名され、Hampsteadに移転した。この頃から夫妻は、治療法を指導するために世界中を廻っている。1973年には厚生省および日本肢体不自由児協会の招聴により来日し、日本で初めてのボバース講習会が8週間にわたり開催され、全国の肢体不自由児施設から50名のセラピストが受講した。Bertaは1976年にドイツから勲章を、また1978年にはイギリスから勲章を贈られている。1981年にボストン大学から名誉博士号を授与された。

しかし共に心疾患をもっていた夫妻は1991年1月20日、同じ日に自宅で亡くなった。EBM全盛の現代では、脳性麻痺、脳卒中のいずれにおいても**Bobath法の効果が十分に明らかになっていない。**

芳賀 信. リハビリテーション用語の起源を訪ねる

Bobath method. Journal of Clinical Rehabilitation. 2016.10 2016;25(10):1011.

ボバース概念の定義

IBITA (International Bobath Instructors Training Association) の定義では、ボバース概念は以下の通りです。



IBITAのロゴマーク

The Bobath concept is the most widely used neuro-rehabilitation approach worldwide, and considers the impact of the neurological condition on the whole person within their individual context. The clinical application of the Bobath concept focuses on movement analysis with respect to selective movement, postural control and the role of sensory information to develop a movement diagnosis guiding treatment and evaluation.

ボバースの概念は、世界で最も広く使用されている神経リハビリテーションアプローチであり、個々の環境の全ての人に対する神経学的状態の影響を考慮しています。Bobathコンセプトの臨床応用は、選択的運動、姿勢制御、感覚情報の役割に関する運動分析に焦点を当て、治療と評価を導く運動診断を発展させています。

IBITA Web siteより引用

ボバース概念の定義

ボバースコンセプトとは、包括的で、個別性を重要視した治療的なアプローチであり、現在の運動及び神経科学と照らし合わせて神経病理学上の損傷のある方々に対して、運動回復や潜在性を最大限に活用するものである。

このコンセプトはその人のすべてに影響を与える神経病理学的な影響を理解つつ、機能的な運動分析の枠組みを提供する。

介入は、本来の運動回復に着目しながら病的な代償的な運動を最小限にし、その運動障害は損傷前後の生活体験に影響されることを理解する必要がある。活動や参加を促す24時間の多職種間の連携が重要である。

ボバースコンセプトでは、機能的な運動分析は姿勢制御、選択的運動、認知/知覚過程の相互作用による感覚情報の影響を考慮する。

体幹と頭部の制御は上肢と下肢の制御と同じように重要であると考えられる。運動遂行の質は、姿勢制御と選択運動の統合、全身の能動的な各部のアライメント、感覚情報を受容し、統合し反応する能力を考慮しながら評価される。

促通はボバースの臨床スキルであり、治療的なハンドリング、環境そして口頭指示による手がかりを用いて感覚情報に影響与えるものを探し求める能動的な過程である。

ファシリテーションでのケースの反応は臨床推論の過程にも影響を与える。

神経発達学的治療（NDT）

1970年代からは神経学と発達学に携わる関係者集団に委ねBobath法でなく神経発達学的治療（NDT）と呼ぶように主張している。

NDT解釈

損傷を受けた脳細胞そのものに向けられたものではなく、脳卒中患者が示す虹的機能障害に直接的に治療し、長期的結果として学習効果による代償的神経回路網の開発を期待している。

神経発達学的治療 (NDT)

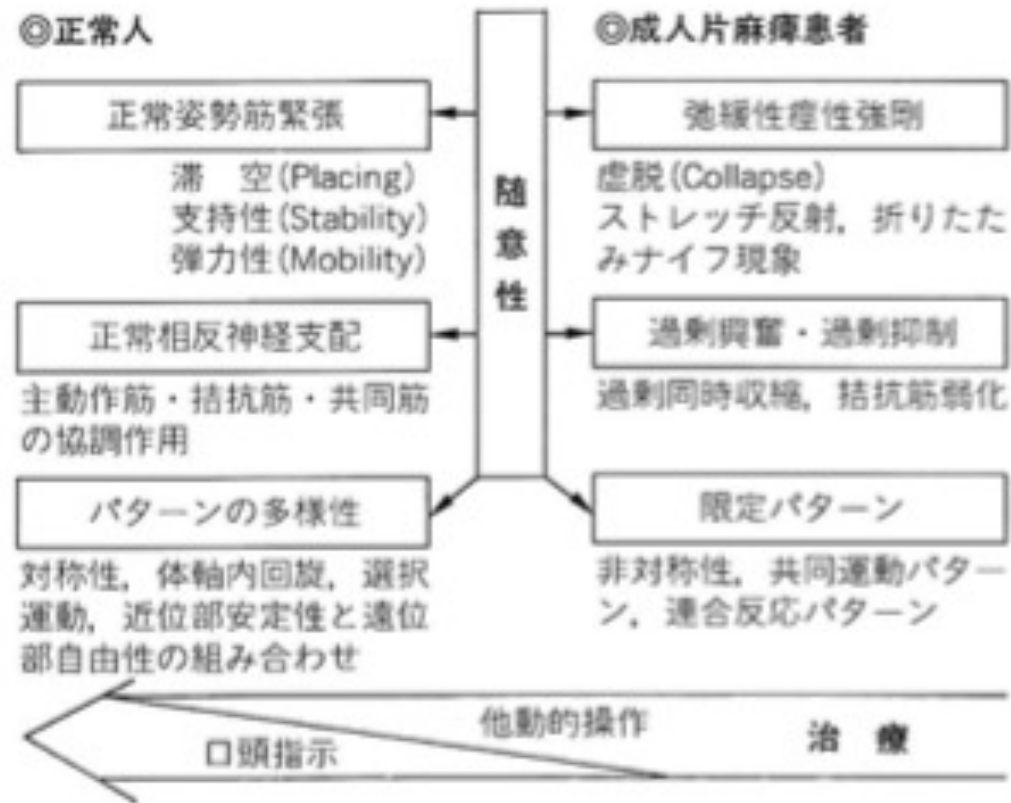


図 1 脳卒中患者病態像と治療目標

紀伊 克. [脳卒中リハビリテーションの再検討]

Bobath Approachの位置付け. 理学療法と作業療法. 1987.11 1987;21(11):735-740.

片麻痺に対するボバース治療

近年の神経生理学的新事実の発見や進歩はボバース治療の理論的根拠に大きな影響を与えている。

中枢性姿勢制御機構

中枢性姿勢制御機構（central postural control mechanism;CPCM）はボバーズによって最初に正常姿勢反射機構（normal postural reflex mechanism:NPRM）と呼ばれ、ボバーズ概念の基本になっている。ボバーズ概念に基づいた評価と治療を進めていくための根幹となしている。

全ての中枢神経系疾患患者の障害はCPCMと関連付けて説明できる。

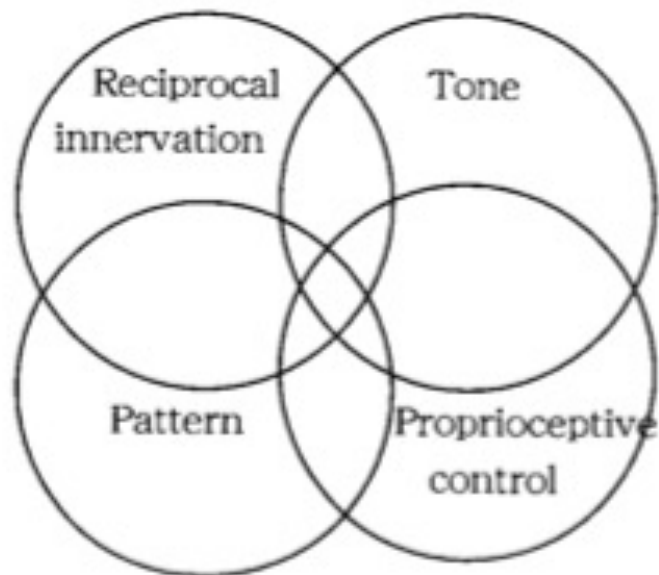
中枢性姿勢制御機構(CPCM)

正常トーン (normal tone)

正常相反神経支配 (normal reciprocal innervation)

運動パターン (自律反応 : automatic reaction)

固有コントロール (proprioceptive control)



オンラインサロンについて



Rehabilitation
Square

以下で悩む・思う方はいないですか？

- ✓ 質問は無料だとしにくいから支払うことでしっかりサービスを利用したい。
- ✓ 家庭の事情でセミナーには参加しにくい。
- ✓ 子育て中のため、夜じゃないと勉強の時間とれない。
- ✓ 地方にいるため、なかなか都心部の勉強会に参加しにくい。
- ✓ 一人職場で悩むことが多い。
- ✓ 職場以外のリハ仲間を作りたい。
- ✓ 臨床の質問がすぐにしたい。
- ✓ 研究や学会発表の気軽に相談できる人がほしい。
- ✓ 教育について悩むことがある。
- ✓ 自費分野で働くモデルケースと繋がりたい。

<https://www.rehabisquare.com>

リハスクオンラインサロンサービス 【8つの特典】

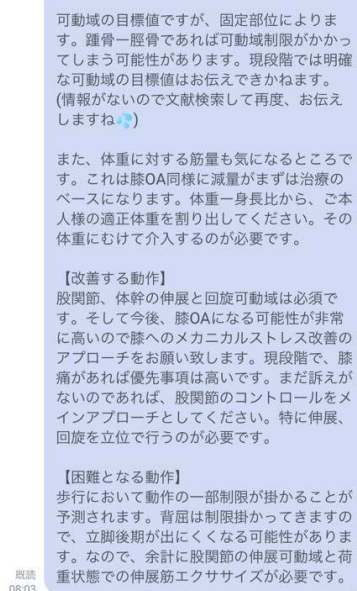
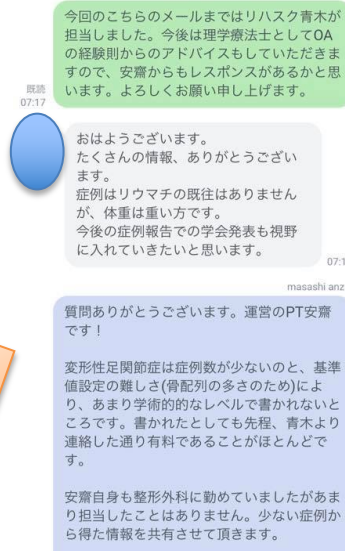
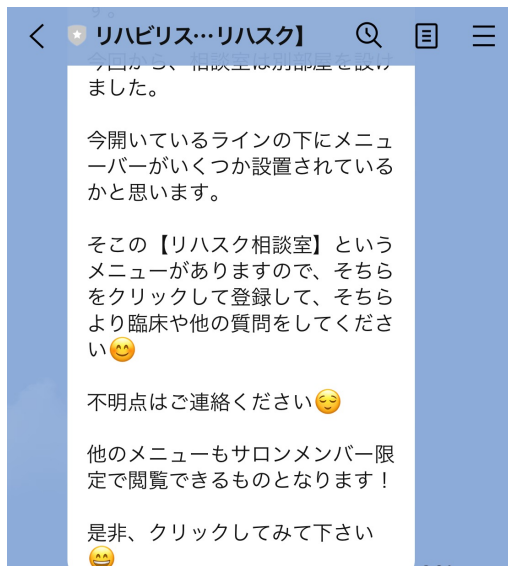
1. 定期的に臨床のことや、意欲につながる動画、ブログ配信
2. 臨床・研究・教育・転職相談がいつでも無料（24時間以内返信対応）
3. 学会発表・研究論文執筆支援プログラム無料
4. zoomオンラインlive・Radio配信（サロンチーム・限定公開無料）
5. サロン企画・共催のオンラインセミナー参加無料（アーカイブも無料配布）
（1ヶ月-2ヶ月に1度開催） <*30000円相当>
6. 進リハの集いセミナーの受講済セミナー動画が無料で閲覧可能
*自身が受講したもののみ無料かつ無期限で閲覧可能
7. 臨床で使用する評価シート無料配布
8. サロン内でのzoomによる飲み会、相談会、交流会など（今後はオフ会も開催！）

一日30円 月額980円！！

<https://www.rehabilisquare.com>

希望者は左のサイトへGO!!

臨床相談サービスの一例



リハスク専用のLINEアカウントで管理人と直接上記のようにやりとりができます。
(個別相談が可能です)
*これはサービスの1つであり、他にも7つの特典があります。他では実施していないサービスなので是非ご活用ください。

詳しくLINE登録は右のサイトへGO!!

<https://www.rehabilisquare.com>

評価サービス内容

サイトクリックはこちら！

サロンメンバーが
セラピストとしてワクワクしながら
臨床に向き合えるために、

モヤモヤせず自信を持てるようになるため
のヒントとなるサービスがここにあります！

Rehabilitation Square

リハスク相談室

毎日の臨床はもちろん、転職、働き方について
あなたの悩みを一緒に考えるオンラインスペース

Rehabilitation square
【リハスク】
共に学ぼう。今日の悩みは明日の知識に

会員限定記事
～毎日の臨床のヒントがここに～

会員限定
評価セミナー & 資料
90%のセラピストが楽しかったサービス

メニュー ▾

詳しくLINE登録は右のサイトへGO!!

<https://www.rehabilisquare.com>

ご清聴ありがとうございました。

進もう。

ぼくらの一歩が、だれかの一歩に。



進リハの集い

